

(3) 乳児死亡及び新生児死亡

乳児死亡数は133人で、前年より7人減少した。乳児死亡率は、出生千人に対し2.2で前年の2.3を0.1ポイント下回った。

乳児死亡のうち新生児死亡数は、62人で前年より3人減少した。新生児死亡率は、出生千人に対し1.0で前年の1.1を0.1ポイント下回った。

全国は、乳児死亡率2.3、新生児死亡率1.1であった。

表－19 乳児死亡及び新生児死亡の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22	
乳児	数	埼玉県	1 523	1 348	1 232	1 015	558	369	280	257	210	137	164	140	133
		全国	49 293	33 742	25 412	19 103	11 841	7 899	5 616	5 054	3 830	2 958	2 798	2 556	2 450
	率	埼玉県	35.1	20.2	13.5	10.6	7.4	5.5	4.4	3.8	3.2	2.3	2.7	2.3	2.2
		全国	30.7	18.5	13.1	10.0	7.5	5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.6	2.4	2.3
新生児	数	埼玉県	955	931	869	673	369	228	168	124	105	61	67	65	62
		全国	27 362	21 260	16 742	12 912	7 796	4 910	3 179	2 615	2 106	1 510	1 331	1 254	1 167
	率	埼玉県	22.0	14.0	9.5	7.0	4.9	3.4	2.7	1.8	1.6	1.0	1.1	1.1	1.0
		全国	17.0	11.7	8.7	6.8	4.9	3.4	2.6	2.2	1.8	1.4	1.2	1.2	1.1

図 17 乳児死亡率の年次推移(埼玉県・全国)

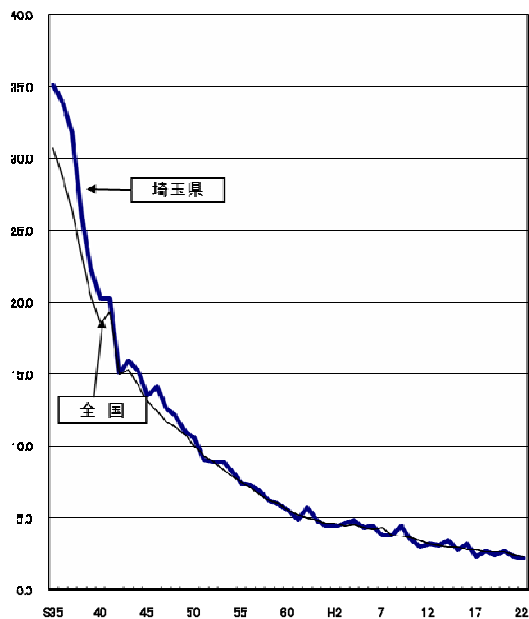
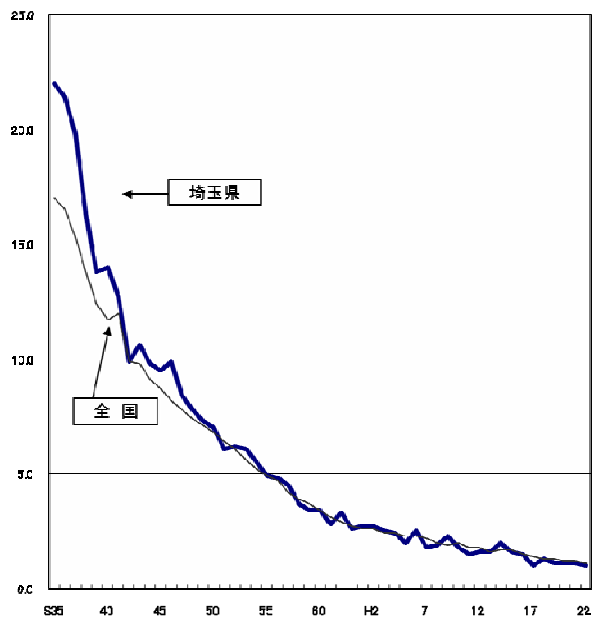


図 18 新生児死亡率の年次推移(埼玉県・全国)



(4) 自然増加

平成22年の自然増加数（出生数から死亡数を減じたもの）は3,950人で前年より3,401人減少した。

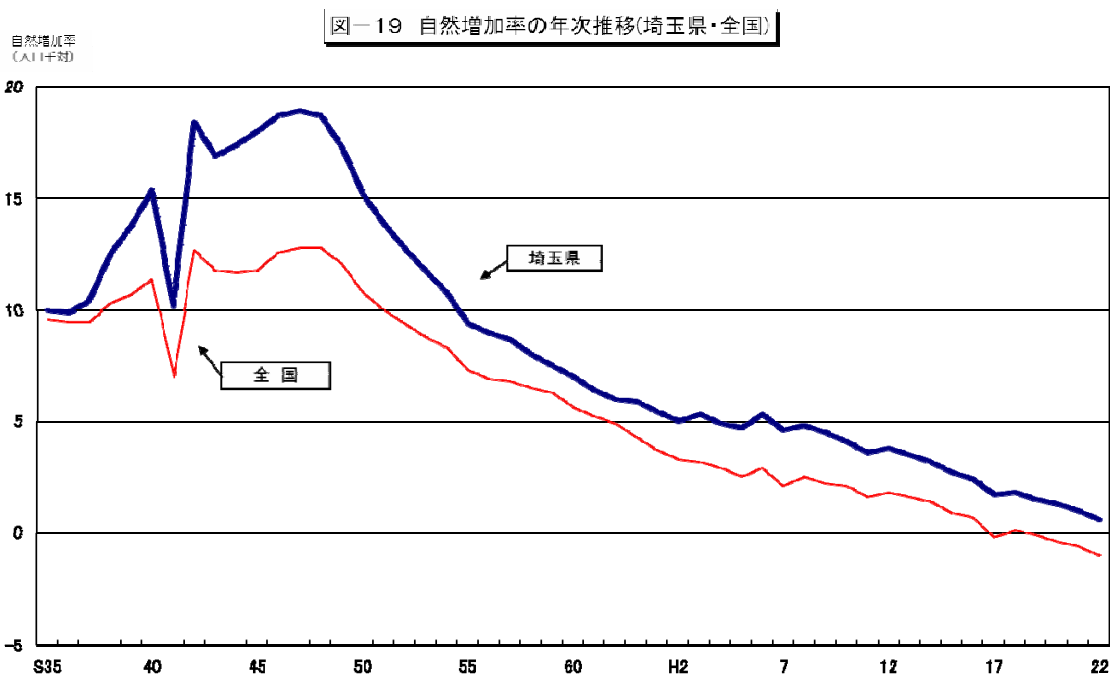
年次推移をみると、第2次ベビーブーム期の昭和46～49年には75,000人を超えていたがその後急激に減少し、平成15年に20,000人を、平成20年から10,000人を割っている。

自然増加率は、人口千人に対し0.6で前年より0.4ポイント低下した。全国自然増加率は、△ 1.0であった。

県内で自然増加数がマイナスの市町村は、64市町村中39市町村であった。

表－20 自然増加数及び自然増加率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22	
数	埼玉県	24 332	46 468	69 277	73 345	50 961	40 843	32 077	30 951	25 890	11 636	8 790	7 351	3 950
	全国	899 442	1 123 259	1 221 277	1 199 165	854 088	679 294	401 290	264 925	228 894	△ 21 266	△ 51 251	△ 71 800	△ 125 708
率	埼玉県	10.0	15.4	18.0	15.2	9.4	7.0	5.0	4.6	3.8	1.7	1.3	1.0	0.6
	全国	9.6	11.4	11.8	10.8	7.3	5.6	3.3	2.1	1.8	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.0



市町村別にみると、高率順では 和光市 (6.3)、戸田市 (5.7)、伊奈町 (5.3)、朝霞市 (5.1) の順である。

また、低率順では、東秩父村 (△14.7)、長瀨町 (△9.6)、ときがわ町 (△9.6) の順である。

表一 2 1 市町村別にみた自然増加率 (高率順)

埼 玉 県								
順位	市町村	自 然 増加率	順位	市町村	自 然 増加率	順位	市町村	自 然 増加率
1	和光市	6.3	25	入間市	0.2	49	毛呂山町	△ 3.7
2	戸田市	5.7	26	狭山市	△ 0.3	50	川島町	△ 4.1
3	伊奈町	5.3	27	蕨市	△ 0.4	51	吉見町	△ 4.2
4	朝霞市	5.1	28	春日部市	△ 0.5	52	越生町	△ 4.7
5	鶴ヶ島市	2.5	29	桶川市	△ 0.5	53	嵐山町	△ 5.5
6	八潮市	2.2	30	鴻巣市	△ 1.1	54	小川町	△ 5.6
7	富士見市	2.2	31	松伏町	△ 1.1	55	神川町	△ 5.7
8	川口市	2.1	32	杉戸町	△ 1.1	56	秩父市	△ 5.7
9	さいたま市	2.1	33	深谷市	△ 1.3	57	横瀬町	△ 6.4
10	志木市	2.0	34	日高市	△ 1.3	58	鳩山町	△ 7.4
11	吉川市	2.0	35	久喜市	△ 1.3	59	美里町	△ 7.8
12	滑川町	2.0	36	上里町	△ 1.4	60	小鹿野町	△ 8.2
13	草加市	1.9	37	東松山市	△ 1.5	61	皆野町	△ 9.5
14	新座市	1.8	38	北本市	△ 1.5	62	ときがわ町	△ 9.6
15	越谷市	1.6	39	宮代町	△ 1.5	63	長瀨町	△ 9.6
16	所沢市	1.1	40	蓮田市	△ 1.7	64	東秩父村	△ 14.7
17	鳩ヶ谷市	1.0	41	熊谷市	△ 1.9			
18	坂戸市	1.0	42	加須市	△ 2.2			
19	三郷市	0.9	43	飯能市	△ 2.3			
20	川越市	0.9	44	幸手市	△ 2.5			
21	三芳町	0.8	45	本庄市	△ 2.5			
22	心じみ野市	0.7	46	寄居町	△ 3.4			
23	上尾市	0.6	47	羽生市	△ 3.5			
24	白岡町	0.5	48	行田市	△ 3.6			

注 率は人口千対

(5) 死産

死産数は1,375胎で、前年より25胎減少した。

死産率は、出産千人(胎)に対し22.6で前年22.9を0.3ポイント下回った。全国(24.2)より、1.6ポイント低くなっている。

また、死産の内訳をみると、自然死産は690胎で前年より10胎増加し、人工死産は685胎で35胎減少した。

表-22 死産数及び死産率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22
死産	数	埼玉県 3 794	4 237	4 277	3 795	2 792	2 630	2 324	1 944	1 907	1 637	1 452	1 400	1 375
	率	全国 179 281	161 617	135 095	101 862	77 446	69 009	53 892	39 403	38 393	31 818	28 177	27 005	26 560
		埼玉県 80.4	59.8	44.8	38.0	35.8	37.6	35.4	27.9	27.9	26.7	23.4	22.9	22.6
	全国 100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	25.2	24.6	24.2	
自然	数	埼玉県 2 491	3 077	3 307	2 976	2 021	1 521	1 226	1 057	941	780	716	680	690
	率	全国 83 424	94 476	84 073	67 643	47 651	33 114	23 383	18 262	16 200	13 502	12 625	12 214	12 245
		埼玉県 52.8	43.4	34.7	29.8	25.9	21.8	18.7	15.2	13.8	12.7	11.6	11.1	11.3
人工	数	埼玉県 1 303	1 180	970	819	771	1 109	1 098	887	966	857	736	720	685
	率	全国 85 857	67 141	51 022	34 219	29 795	35 895	30 509	21 141	22 193	18 316	15 552	14 791	14 315
		埼玉県 27.6	16.4	10.2	8.2	9.9	15.9	16.7	12.7	14.1	14.0	11.9	11.8	11.3
	全国 48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.9	13.5	13.0	

注 率は出産(出生+死産)千対

図-21 死産率の年次推移(埼玉県・全国)

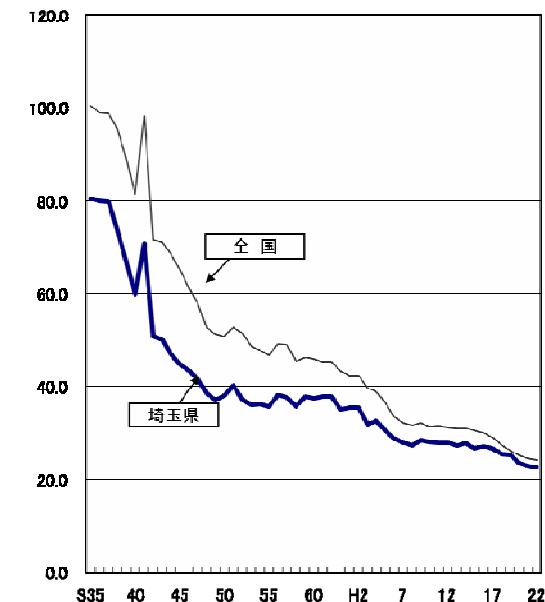
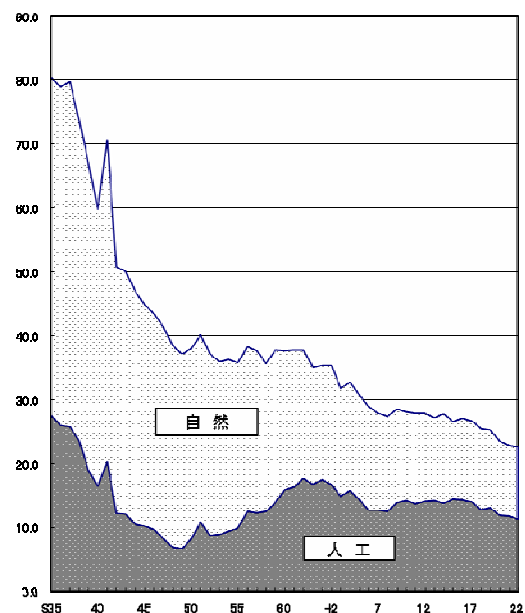


図-22 死産率の年次推移(自然・人工)(埼玉県)



(6) 周産期死亡

周産期死亡数は252人（胎）で、前年より17人（胎）増加した。

周産期死亡率は、出産千人（胎）に対し4.2で前年より0.3ポイント上回り、全国と同率であった。

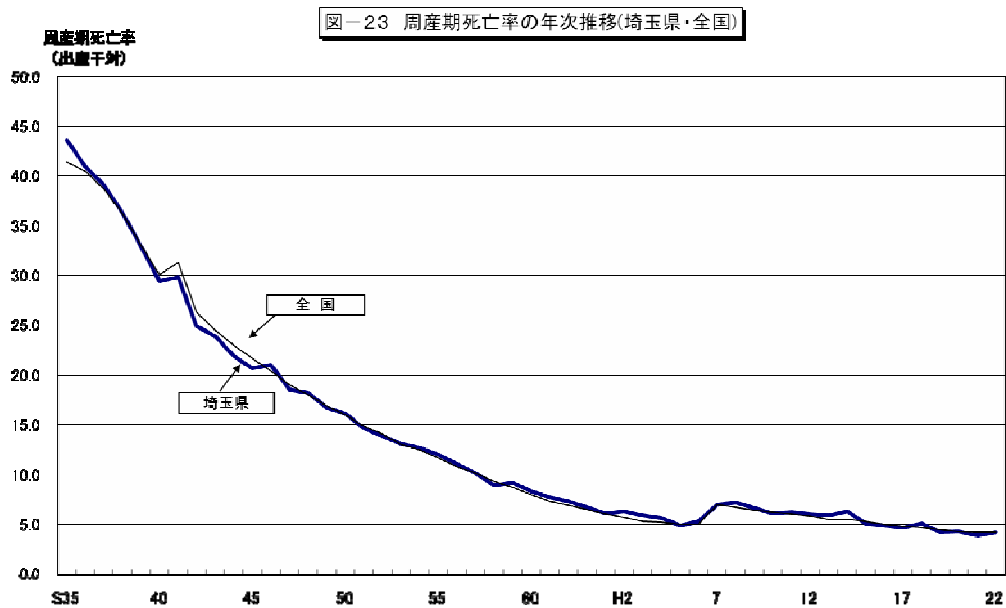
年次推移をみると、長期的に低下傾向にある。

平成7年の上昇は、周産期死亡の定義が変わり、後期死産が「妊娠満28週以後」から「妊娠満22週以後」に改められたことに原因があるものと考えられる。

表－23 周産期死亡数及び周産期死亡率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22	
周産期死亡	数	埼玉県	1 892	1 956	1 889	1 546	899	555	401	476	397	281	264	235	252
		全国	66 552	54 094	41 917	30 513	18 385	11 470	7 001	8 412	6 881	5 149	4 720	4 519	4 515
	率	埼玉県	43.6	29.4	20.7	16.1	12.0	8.3	6.3	7.0	6.0	4.7	4.3	3.9	4.2
		全国	41.4	30.1	21.7	16.0	11.7	8.0	5.7	7.0	5.8	4.8	4.3	4.2	4.2
後期死産	数	埼玉県	1 287	1 306	1 213	1 014	603	380	275	385	319	242	212	190	205
		全国	49 512	39 955	29 107	20 268	12 231	7 733	4 664	6 580	5 362	4 058	3 751	3 645	3 637
	率	埼玉県	29.6	19.6	13.3	10.6	8.0	5.6	4.3	5.7	4.8	4.0	3.5	3.2	3.4
		全国	30.8	21.9	15.0	10.7	7.8	5.4	3.8	5.5	4.5	3.8	3.4	3.4	3.4
早期新生児死亡	数	埼玉県	605	650	676	532	296	175	126	91	78	39	52	45	47
		全国	17 040	14 949	12 810	10 245	6 154	3 737	2 337	1 832	1 519	1 091	969	874	878
	率	埼玉県	13.9	9.8	7.4	5.5	3.9	2.6	2.0	1.3	1.2	0.7	0.9	0.8	0.8
		全国	10.6	8.2	6.6	5.4	3.9	2.6	1.9	1.5	1.3	1.0	0.9	0.8	0.8

注 周産期死亡率・後期死産率は出産（出生＋後期死産数）千対である。
早期新生児死亡率は出生千対である。



(7) 婚姻

婚姻件数は39,160件で、前年より239件減少した。

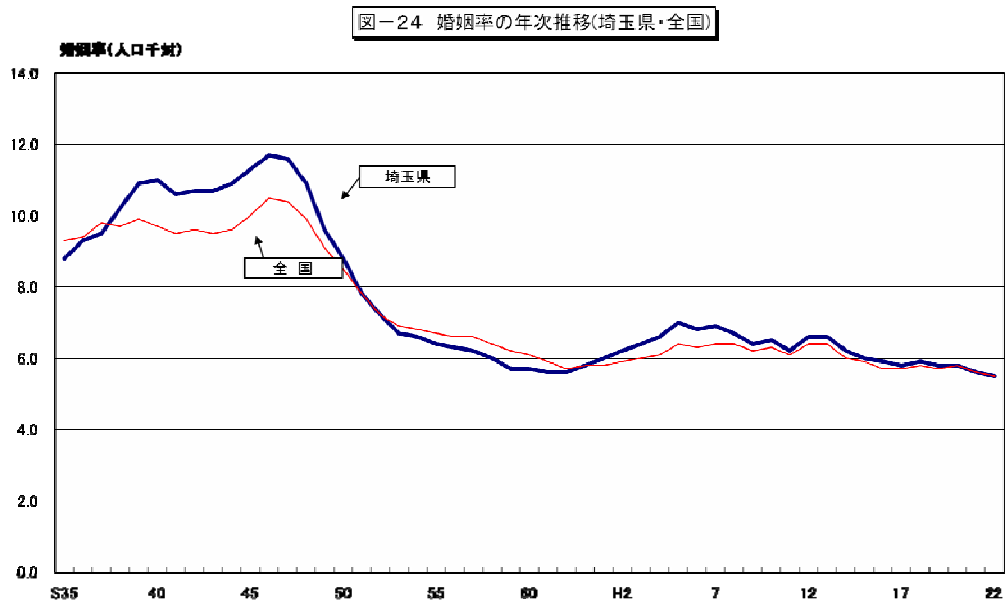
婚姻率は、人口千人に対し5.5で前年を0.1ポイント下回った。

全国の婚姻率は5.5であった。

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年（5.6）をボトムに若干上昇した。その後平成14年以降低下を続け、平成17年以降は横ばいを続けている。

表一 2 4 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22	
数	埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234	46 224	45 636	40 486	40 604	39 399	39 160
	全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138	791 888	798 138	714 265	726 106	707 734	700 214
率	埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2	6.9	6.6	5.8	5.8	5.6	5.5
	全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9	6.4	6.4	5.7	5.8	5.6	5.5

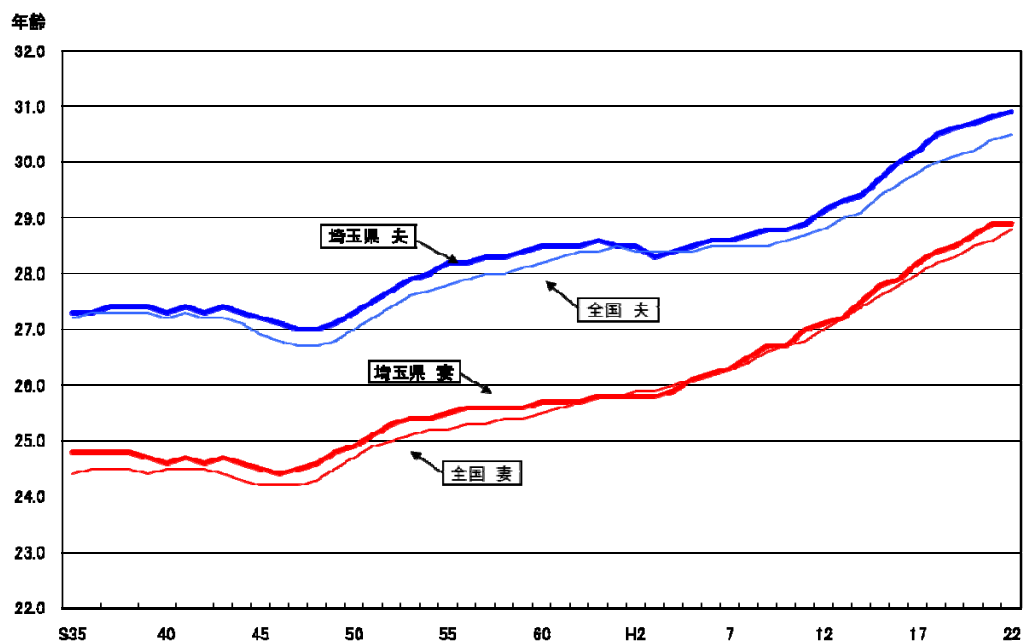


平均初婚年齢は、夫30.9歳、妻28.9歳で、前年と比べると夫が0.1歳上昇し、妻は同じであった。

表－25 平均初婚年齢の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.7	30.8	30.9
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.2	30.4	30.5
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.7	28.9	28.9
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.5	28.6	28.8

図－25 平均初婚年齢の年次推移(埼玉県・全国)



(8) 離婚

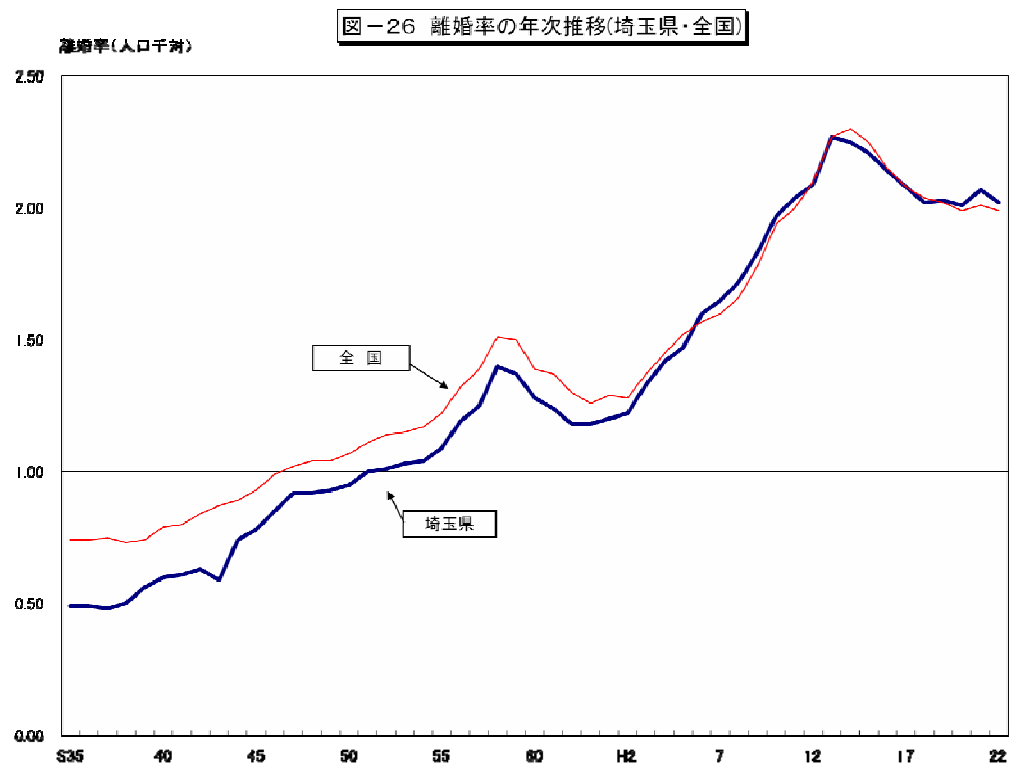
離婚件数は14,325件で、前年より259件減少した。

離婚率は、人口千人に対し2.02で前年より0.05ポイント低下した。全国は、1.99であった。

離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降は低下傾向にあったが、平成元年以降上昇を続けていた。平成14年からは低下に転じていたが、平成21年は上昇、平成22年は再び低下した。

表一 26 離婚件数及び離婚率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	20	21	22
数													
埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775	11 062	14 368	14 521	14 112	14 584	14 325
全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608	199 016	264 246	261 917	251 136	253 353	251 378
率													
埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.28	1.22	1.65	2.09	2.08	2.01	2.07	2.02
全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28	1.60	2.10	2.08	1.99	2.01	1.99



(9) 合計特殊出生率

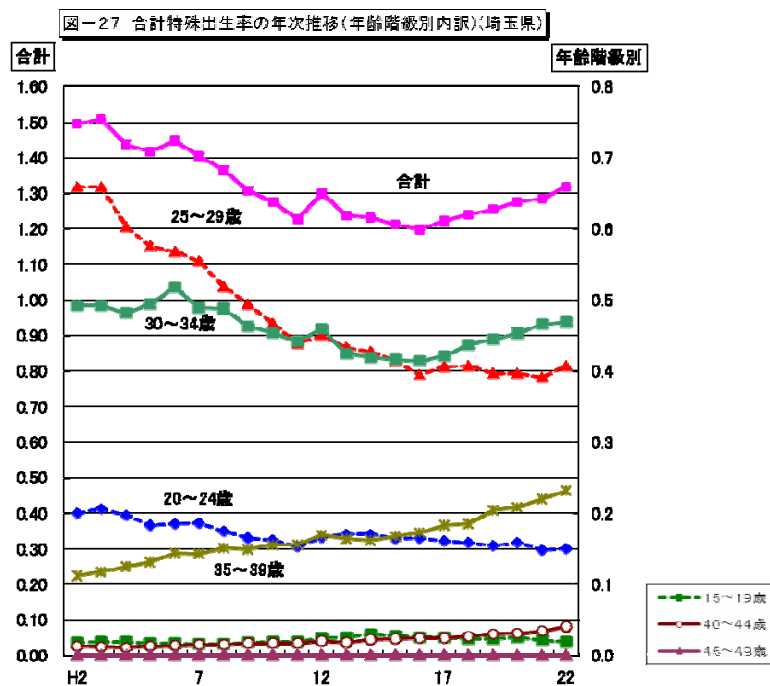
合計特殊出生率は1.32で、前年の1.28を0.04ポイント上回った。全国は、1.39である。

母の年齢階級別にみると、20～24歳、25～29歳の年齢階級で低下の傾向にある一方、30～34歳、35～39歳の年齢階級では上昇の傾向が見られる。

表－27 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		平成2年	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
埼玉県	合計	1.50	1.41	1.30	1.24	1.23	1.21	1.20	1.22	1.26	1.28	1.28	1.32
	15～19	0.02	0.02	0.02	0.0261	0.0297	0.0276	0.0259	0.0255	0.0234	0.0257	0.0217	0.0200
	20～24	0.20	0.19	0.17	0.1711	0.1709	0.1645	0.1659	0.1617	0.1545	0.1596	0.1491	0.1504
	25～29	0.66	0.56	0.45	0.4330	0.4276	0.4134	0.3949	0.4071	0.3974	0.3975	0.3917	0.4075
	30～34	0.49	0.49	0.46	0.4250	0.4197	0.4148	0.4145	0.4216	0.4444	0.4536	0.4656	0.4693
	35～39	0.11	0.14	0.17	0.1641	0.1619	0.1670	0.1731	0.1835	0.2042	0.2090	0.2209	0.2322
	40～44	0.01	0.02	0.02	0.0189	0.0225	0.0241	0.0247	0.0246	0.0302	0.0315	0.0348	0.0404
	45～49	0.00	0.00	0.00	0.0005	0.0005	0.0006	0.0005	0.0007	0.0010	0.0009	0.0006	0.0010
全国	合計	1.54	1.42	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.34	1.37	1.37	1.39

注 分母に用いた人口は「平成22年国勢調査による基準人口」（総務省統計局）である。



(10) 保健所別にみた人口動態

平成22年の人口動態統計の保健所別の結果は以下のとおりとなった。

表-28 保健所別にみた出生数及び出生率

埼 玉 県		
	出生数	出生率
県 計	59 437	8.4
さいたま市	11 131	9.2
川越市	2 947	8.8
川 口	7 167	9.8
朝 霞	6 393	9.5
鴻 巣	4 059	7.7
東松山	1 352	6.3
秩 父	747	6.9
本 庄	1 022	7.7
熊 谷	2 916	7.7
加 須	1 793	7.1
春日部	4 774	8.2
幸 手	2 835	7.1
坂 戸	1 762	7.5
草 加	4 467	8.7
狭 山	6 072	7.8

注 率は人口千対

表－２９ 保健所別にみた死亡数及び死亡率

埼玉県

	死亡数	死亡率
県 計	55 487	7.8
さいたま市	8 645	7.1
川越市	2 654	7.9
川 口	5 464	7.5
朝 霞	4 524	6.7
鴻 巣	3 968	7.6
東松山	2 081	9.7
秩 父	1 473	13.7
本 庄	1 431	10.8
熊 谷	3 601	9.5
加 須	2 543	10.0
春日部	4 403	7.5
幸 手	3 352	8.4
坂 戸	1 809	7.7
草 加	3 587	7.0
狭 山	5 952	7.6

注 率は人口千対

表－３０ 保健所別にみた乳児死亡数・率及び新生児死亡数・率

埼玉県

	乳児死亡数	乳児死亡率	新生児死亡数	新生児死亡率
県計	133	2.2	62	1.0
さいたま市	31	2.8	14	1.3
川越市	2	0.7	1	0.3
川口	13	1.8	5	0.7
朝霞	12	1.9	5	0.8
鴻巣	9	2.2	5	1.2
東松山	5	3.7	1	0.7
秩父	2	2.7	1	1.3
本庄	3	2.9	1	1.0
熊谷	7	2.4	3	1.0
加須	5	2.8	2	1.1
春日部	9	1.9	6	1.3
幸手	8	2.8	5	1.8
坂戸	5	2.8	4	2.3
草加	7	1.6	5	1.1
狭山	15	2.5	4	0.7

注 率は出生千対

表－３１ 保健所別にみた自然増加数及び自然増加率

埼玉県

	自然増加数	自然増加率
県 計	3 950	0.6
さいたま市	2 486	2.1
川越市	293	0.9
川 口	1 703	2.3
朝 霞	1 869	2.8
鴻 巣	91	0.2
東松山	△ 729	△ 3.4
秩 父	△ 726	△ 6.8
本 庄	△ 409	△ 3.1
熊 谷	△ 685	△ 1.8
加 須	△ 750	△ 3.0
春日部	371	0.6
幸 手	△ 517	△ 1.3
坂 戸	△ 47	△ 0.2
草 加	880	1.7
狭 山	120	0.2

注 率は人口千対

表－３２ 保健所別にみた死産数及び死産率

埼玉県

	死産数	死産率	自然死産率	人工死産率
県計	1 375	22.6	11.3	11.3
さいたま市	263	23.1	12.6	10.4
川越市	41	13.7	5.4	8.4
川口	136	18.6	10.8	7.8
朝霞	137	21.0	8.9	12.1
鴻巣	76	18.4	8.9	9.4
東松山	43	30.8	13.6	17.2
秩父	21	27.3	10.4	16.9
本庄	39	36.8	24.5	12.3
熊谷	80	26.7	15.0	11.7
加須	38	20.8	11.5	9.3
春日部	127	25.9	9.4	16.5
幸手	64	22.1	9.3	12.8
坂戸	48	26.5	12.7	13.8
草加	116	25.3	12.9	12.4
狭山	146	23.5	13.2	10.3

注 率は出産(出生+死産)千対

表－３３ 保健所別にみた周産期死亡数及び周産期死亡率

埼玉県

	周産期死亡数	周産期死亡率	後期死産率	早期新生児死亡率
県 計	252	4.2	3.4	0.8
さいたま市	52	4.7	3.8	0.9
川越市	5	1.7	1.4	0.3
川 口	28	3.9	3.3	0.6
朝 霞	27	4.2	3.6	0.6
鴻 巣	19	4.7	3.7	1.0
東松山	9	6.6	5.9	0.7
秩 父	3	4.0	2.7	1.3
本 庄	6	5.8	4.9	1.0
熊 谷	13	4.4	3.4	1.0
加 須	7	3.9	3.3	0.6
春日部	21	4.4	3.1	1.3
幸 手	11	3.9	2.5	1.4
坂 戸	4	2.3	1.7	0.6
草 加	23	5.1	4.5	0.7
狭 山	24	3.9	3.4	0.5

注 周産期死亡率・後期死産率は出産(出生+後期死産)千対
 早期新生児死亡率は出生千対

表－３４ 保健所別にみた婚姻件数及び婚姻率

埼玉県

	婚姻件数	婚姻率
県 計	39 160	5.5
さいたま市	7 286	6.0
川越市	1 910	5.7
川 口	5 164	7.1
朝 霞	4 325	6.4
鴻 巣	2 643	5.0
東松山	890	4.1
秩 父	443	4.1
本 庄	645	4.8
熊 谷	1 791	4.7
加 須	1 125	4.4
春日部	3 106	5.3
幸 手	1 849	4.6
坂 戸	1 059	4.5
草 加	2 966	5.8
狭 山	3 958	5.1

注 率は人口千対

表－３５ 保健所別にみた離婚件数及び離婚率

埼玉県

	離婚件数	離婚率
県 計	14 325	2.02
さいたま市	2 257	1.87
川越市	637	1.90
川 口	1 870	2.56
朝 霞	1 407	2.09
鴻 巣	975	1.86
東松山	375	1.74
秩 父	185	1.72
本 庄	282	2.12
熊 谷	702	1.86
加 須	467	1.84
春日部	1 215	2.07
幸 手	666	1.67
坂 戸	502	2.13
草 加	1 239	2.42
狭 山	1 546	1.99

注 率は人口千対